



大鋸の丘

2020（令和2）年3月5日

藤沢市立大鋸小学校

校長 一瀬 今日子



春はそこまで 旅立ちの季節です

校庭の白木蓮の花が、例年より早く、真っ白な柔らかな花を咲かせています。いよいよ今年度も最後の月となりました。本来でしたら、1年間をふりかえり、ともに過ごしてきた仲間との残り少ない日々を大切に過ごしながら、学習のまとめをしたり、進級に向けて少しお兄さんお姉さんの気持ちをつくっていったりする時期です。しかし、臨時休校ということで、急に残りの登校日が2日間になってしまいました。特に、卒業する6年生の教室では、突然の休校の知らせに涙する児童もいたそうです。大変残念なことです。

一番大切なことは、子どもたちの健康と安全です。限られた時間の中で、思い出に残る温かな卒業式になるよう職員で話し合っています。また、4年生は6年生に感謝の気持ちを伝えるために卒業式の日に行うお別れ式の準備を進めてきましたが、急遽3月5日に、放送で行います。卒業式に参列する予定だった5年生は、お別れ式の中で、校庭にて歌をプレゼントすることになりました。いつもとは違いますが、在校生から6年生への感謝の気持ちを伝え、6年生の旅立ちをみんなでお祝いしたいと思います。

この休校期間と春休みを上手に過ごし、気持ちを切り替えて、新学期にまた元気な顔で会えることを楽しみにしています。

保護者の皆様、地域の皆様、今年度も大鋸小学校の教育活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございました。来年度も引き続き、子どもたち一人一人の成長を支えていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

休校期間中の過ごし方について

- 健康面・生活面・学習面について、本日、（3月5日）藤沢市教育委員会から配付された「臨時休校期間中の対応と過ごし方について」をご覧ください。
- 毎日の健康観察をお願いします。（検温、健康調査票への記入）
- 子どもたちが校舎内や校庭で遊ぶことはできませんが、何かご相談ごとや、忘れ物・荷物の受け取り等ありましたら、いつでもご連絡ください。

「家庭への知らせ」について

- 3学期は、2月末までに学習した内容について、評価します。
- 評価できなかった項目については、斜線になっています。（クラスによってまとめのテストができたりできなかったりしています。クラスごとに斜線部が異なることがあります。）
- 学習できなかったところについては、4月以降に学習します。前学年の教科書は、しばらくとっておいてください。

4月の主な行事予定

6日(月) 始業式・入学式	21日(火) 3・4授業参観・懇談会
7日(火) 離任式	22日(水) 2年授業参観・懇談会
9日(木) 2年～6年給食開始	23日(木) 1年懇談会
16日(木) 6年生全国学力学習状況調査	
20日(月) 5・6年授業参観懇談会 1年給食開始	



※4月の予定については、新年度の状況によって、今後変更する可能性があります。
ご了承ください。

2019年度 よりよい学校づくりのためのアンケート結果と考察

今年度も、3年生・5年生の児童と保護者、教職員を対象に、よりよい学校づくりのための学校評価アンケートを実施いたしました。保護者の皆様には、お忙しい中、ご回答いただきありがとうございました。

アンケートの結果についてご報告いたします。

アンケートの結果を受けて、課題については改善に努めながら、今後の教育活動に活かしてまいりたいと思います。

【児童アンケートの結果】 3年生・5年生の児童を対象にアンケートを実施しました。

①：そう思う ②：ほぼそう思う ③：あまり思わない ④：思わない ⑤：どちらとも言えないよくわからない

質問領域	項目番号	質問項目	1	2	3	4	5
A教育目標・方針	1	あなたは、学校の目標やきまりを知っている。	26%	53%	12%	5%	4%
	2	学校の生活は、楽しい。	46%	32%	13%	7%	4%
B教育課程	3						
C学習指導	4	学校の勉強は、わかりやすい。	34%	47%	10%	4%	5%
D学習全般への取り組み	5	学校で好きな授業がある。	83%	9%	5%	3%	1%
E支援教育	6						
F教職員の姿	7	先生たちは、自分の考えや話を聞いてくれる。	55%	34%	6%	2%	3%
G基本的な生活習慣	8	あなたは、学校のきまりを守っている。	21%	59%	13%	4%	4%
	9						
H児童理解・指導いじめ等未然防止	10	学校では、「命の大切さ」や「集団のルールやマナー」も学習している。	61%	26%	6%	4%	4%
	11	あなたには、何でも話したり、話を聞いてあげたりできる友だちがいる。	70%	17%	7%	4%	3%
I保健安全教育安全管理	12						
	13	火事や地震がおきたとき、ひなん方法を知っている。	65%	28%	4%	2%	1%
J教育整備	14	あなたは、きれいで気持ちよい学校にしようとしている。	40%	38%	13%	5%	4%
K地域連携	15	地域の行事(夏祭り・地区レクなど)に、参加している。行っている。	35%	26%	14%	21%	4%
L開かれた学校づくり・情報提供	16	あなたは、家族に学校の様子を話している。	52%	27%	16%	4%	2%
	17						
	18						
	19	家の人は、学校行事や授業参観に来てくれる。	75%	18%	4%	2%	1%

どの項目についても、1・2の評価を合わせると、概ね8割程度となること、また、項目5で「学校で好きな授業がある」という質問に、「はい」と答えている児童が約9割いることから、学校生活

に前向きに取り組んでいる児童が多いと思われます。

項目2で、「学校生活は楽しい」と答えている児童が8割程度いる中で、2割の児童が「あまり思わない」「思わない」と答えています。「あまり楽しくない」と感じている児童について、何が原因であるのか、注意深く目を向けていく必要があります。ただし、項目7・項目11で、先生や友だちに話を聞いてもらえる、相談できると感じている児童が約9割近くいることから、困り感に対する解決の糸口として、先生や友だちとの結びつきができていることが感じられます。

学校では、担任はもちろんのこと、児童支援担当教諭やスクールカウンセラー等、児童の困り感や保護者からの相談に対してチームで対応しています。お子さんの様子で気になること等ありましたら、遠慮なくご相談ください。

項目4の「学校の勉強はわかりやすい」については、やはり8割程度の児童が肯定的に捉えている一方で、15%の児童が否定的に捉えています。学年が上がるにつれて、学習の難しさを感じている児童が増えているようです。大鋸小学校では、校内研究のテーマを「進んで学ぶ子をめざして～学びを楽しむ授業づくり～」として、今年度は、外国語の研究に取り組んできました。さらに、一昨年度から、授業に、ユニバーサルデザインの視点（【焦点化】【視覚化】【共有化】）を取り入れた授業づくりに取り組み、どの児童にとっても分かりやすい授業づくりをめざしてきました。一人一人の学習状況を見取りながら、今後も、分かりやすい授業づくりに取り組んでまいります。

【保護者アンケートの結果】 3年生・5年生の保護者を対象にアンケートを実施しました。
《1：そう思う 2：ほぼそう思う 3：あまり思わない 4：思わない 5：どちらとも言えないよくわからない》

質問領域	項目番号	質問項目	1	2	3	4	5
A教育目標・方針	1	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	19%	51%	19%	3%	8%
	2	子どもは、楽しく学校へ行っている。	46%	42%	10%	0%	2%
B教育課程	3						
C学習指導	4	学校は、わかりやすい授業に努めている。	22%	57%	11%	1%	8%
D学習全般への取り組み	5	家で自分なりに勉強（宿題・予習・復習など）をしている。	27%	44%	20%	8%	1%
E支援教育	6						
F教職員の姿	7	学校は、子どもの話をていねいに聞いてくれる。	22%	50%	15%	4%	9%
G基本的な生活習慣	8						
	9	子どもは、食事や睡眠など規則正しい生活をしている。	38%	49%	10%	2%	1%
H児童理解・指導 いじめ等未然防止	10	子どもは、友達を思いやり仲良くしている。	42%	52%	2%	0%	4%
	11						
I保健安全教育 安全管理	12						
	13	学校は、保健・安全教育に取り組んでいる。	28%	56%	8%	1%	7%
J教育整備	14						
K地域連携	15	学校は、保護者や地域と協力関係を持っている。	31%	54%	10%	1%	6%
L開かれた学校 づくり・情報提供	16	子どもは、家で学校の様子を話している。	38%	42%	16%	3%	0%
	17	保護者は、学校や学年からのたよりを読んでいる。	52%	39%	6%	1%	2%
	18	学校は、保護者の参観や来校の機会を十分に設けている。	61%	36%	2%	0%	1%
	19	保護者は、学校行事や学級活動に参加している。	40%	48%	10%	1%	1%

今年度も、授業参観や運動会、鋸小祭など、多くの機会に参加していただき、ありがとうございました。児童のアンケート（項目19）でも、保護者の方が授業参観等に来てくれると実感している児

童が9割と高く、参観日の児童の様子からも家の方々が見に来てくれることをとても嬉しく感じ、また、期待をもって捉えている様子を感じられます。

項目17より学校からのたより等、学校からの発信に対する関心の高さが感じられる一方で、項目1より、教育方針が分かりやすくお伝えできていないことが表れています。学校の教育方針や現状について、今後も学校だよりやホームページ等で、発信していく努力をして参りたいと思います。

項目16の「子どもは、家で学校の様子を話している」では、8割の児童が話している反面、2割の児童があまり話していないようです。児童のアンケートからも同じような結果が見られます。参観や学校からの情報等、お子さんとの会話につながるような情報を今後も提供していきたいと思えます。

項目5については、家庭での学習習慣が身に付いていない児童もいるようです。短い時間でも構いませんので、毎日机に向かうこと、できれば保護者もお子さんの隣で学習状況を見守ってあげることが大切と感じます。学校としては、宿題の量や在り方についても今後話題にしていきます。

【学校の自己評価】

- ・学習指導については、児童一人一人の学習状況を見取りながら、指導方法や教材の工夫に努め、分かりやすい授業づくりをめざし取り組んできたことが、児童アンケート項目4の「学校の勉強はわかりやすい」に昨年度よりも成果が表れています。今後も、引き続き、学習に困り感を感じている児童にもしっかりと目を向け、全員が参加できる授業づくりに努めてまいります。
- ・児童支援・指導については、担任、児童支援担当、スクールカウンセラー等が連携を図り、児童の状況や対応について共通理解が図られるよう努めてきました。児童アンケート項目7で、「先生たちは自分の考えや話しを聞いてくれる」に、昨年度よりも成果が現れています。子どもたちが、“学校では自分の話を聞いてくれる先生がたくさんいる”と感じられるよう、今後も、組織で対応し、課題の早期発見早期対応に取り組んでまいります。
- ・基本的な生活習慣の定着をめざし、指導に力を入れてきたことは、児童アンケート項目1の「あなたは学校の目標やきまりを知っている」、項目8「あなたは学校のきまりを守っている」に昨年度と比較すると少しずつ成果が現れています。今後も、各クラスや学校全体での指導を重ねてまいります。

【学校関係者評価会議より】2月26日実施

学校評議員とPTA窓口の皆様にお集まりいただき、アンケート結果をもとにご意見を伺いましたのでご報告いたします。

- ・多くの保護者は、学校からの便りを読んでいること、また学校への参観日を十分に設けていること等から、学校への期待感が伝わってくる。
- ・授業参観で保護者参加型の授業があったのは良かった。
- ・子どもたちの地域行事への参加が少ないようだが、休日は、習い事や試合等で忙しく過ごしているのだろう。
- ・子どもたちが家で話したいことや実際に話していることと、親が学校生活について子どもから聞きたいことでは、ずれがあると思う。
- ・外国語活動の取り組みはスムーズに進んでいるのか。→英語で話す機会を重ねる中で、子どもたちも教師も英語での表現に慣れ親しんできている。発音については、CDやDVDを活用して、正しい発音に触れています。